

令和8年度 共創型研究推進事業 募集要項

令和8年7月8日 グローバル共創科学部

【目的】

現代の社会課題は、環境やエネルギーをめぐる地球規模の課題から、人口減少・少子高齢化をはじめとする地域社会の課題に至るまで、多様化・複雑化している。このような課題は、一つの専門分野の知識や技術のみでは解決が困難であり、異なる分野の専門知を集集し、多角的な視点から課題解決に取り組むことが求められている。

このような背景のもと、静岡大学では令和5年4月にグローバル共創科学部を設置し、文理の枠を超えた教育・研究活動を推進している。本事業は、その理念を全学的な研究活動へと発展させるため、未来創成本部の支援のもと実施するものである。

共創型研究とは、それぞれの専門分野が有する知識・技術を融合し、単一分野では解決困難な社会課題や地球規模課題の解決を目指す研究をいう。特に、地球の持続可能性に関する課題や地域社会が直面する諸課題を対象として、文理融合を含む複数の異なる専門領域が連携して取り組む学際的研究を指す。

本事業は、部局や専門分野の枠を超えた研究者間の新たなネットワーク形成を促進し、静岡大学における共創型研究の裾野拡大と研究力向上を図ることを目的とする。

【支援対象】

異なる学術分野（文系・理系を含む）に属する複数の教員からなり、上述に記載のとおり、共創型研究（単なる技術提供や分析支援を目的とする共同研究ではなく、研究計画の立案から成果創出までを複数分野の研究者が主体的に協働する研究を対象とする）を実施しようとしているグループを対象とする。研究内容については、既に着手している研究テーマに限らず、これから取り組む研究テーマも対象となる。なお、本事業は分野横断型・文理融合型研究の創出を目的としており、将来的な外部資金獲得につながる研究課題を歓迎する。

【支援額】

総額500万円を予定しており、研究の規模、内容により支援額・支援件数を決定するが、現在のところ5～10件程度の採択を予定している。支援金については、研究代表者に一括で支給する。なお、研究分担者に学外の研究者を加えることは認めるが、本支援金は配分しない。支援金は令和9年2月中旬を執行完了の目処とするが、詳細は採択後に別途連絡する。

【募集期間】

令和8年7月8日（水）～7月31日（金）

【選考】

上記募集期間中に、別紙様式1「令和8年度 共創型研究推進事業申請書」を提出すること。その後、グローバル共創科学部内に設置された選考委員会にて書類選考を実施し、採否を決定する。決定のため必要な場合には、面接選考も実施することがある。採択結果の公表は8月下旬を予定している。その際、選考方針及び審査結果の概要を公表予定である。

【事後評価】

令和9年3月1日までに報告書（別紙様式2）を提出してもらい、上述の選考委員会にて評価する。なお、本事業終了後は、科研費をはじめとする外部資金への申請や、新たな共同研究の展開等、本研究の発展に努めるものとする。また、本支援で得られた成果は、グローバル共創科学部公式 web サイトにて公表する（公表内容については、採択研究グループと調整する）。

【その他】

過年度の「静大 100 人論文」（URL：<https://www.gkk.shizuoka.ac.jp/100nin-ronbun/>）にて研究マッチングに成功した研究グループに対して、優先して採択する予定である。また今年度採択された課題については、今年度実施予定の「静大 100 人論文」へ参加することを義務とする。

【提出先】 ※以下フォームから申請してください。

<https://forms.cloud.microsoft/r/rxtqKMQRV9>

【問い合わせ先】

グローバル共創科学部 平井浩文（hirai.hirofumi@shizuoka.ac.jp）

別紙様式 1

令和 8 年度 共創型研究推進事業 申請書

	学部	氏名	専門分野	科研費小区分コード
研究代表者				
研究分担者				
研究題目				
「静大 100 人論文」におけるマッチング	有 無（どちらかを消してください）			
支援希望額				
支援金 使用内訳				
目的・概要 (500 字以内)				
研究計画 (500 字以内)				
本研究の独創性・新規性 (500 字以内)				

本研究における異分野融合の必要性 (500字以内)	
期待される成果 (500字以内)	
特筆すべき研究業績・競争的外部資金獲得状況 (過去3年以内)	
特記事項 (審査に有効と思われる点を記載してください。)	

※ 必要に応じて図表を使用しても構いません。その場合、必要最小限に留めて下さい。

令和 8 年度 共創型研究推進事業 成果報告書

(成果報告)
(支援金使用内訳)

※ 成果報告については 1000 字以内でまとめて下さい。また、適宜図表を使用しても構いません。